

2022年8月10日

報道各位

生分解性プラスチックを用いた海洋資材「生分解性土のう袋」が 国土交通省の『NETIS』に登録されました

ニチモウは2023年3月期からの3ヵ年計画「第137期中期経営計画(Toward the next stage)」の最大のテーマとしてサステナブル経営の推進を掲げ、温室効果ガス（主にCO2）と海洋プラスチックごみ削減への取り組みとして植物由来の生分解性プラスチックを用いた海洋資材（漁網・ロープ・たこ壺など）の実用化に向けた研究開発を促進し、企業価値の向上に努めております。

この度、生分解性を用いた新技術である「生分解性土のう袋」が、国土交通省の公共工事等における新技術活用システム『NETIS』に登録されました（登録番号:QSK-220002-A）。これにより公共工事の施工者（入札業者）はNETISに登録された技術を利用することで入札時に有利となる加点が得られ、利用するほど落札に有利となります。

本事案はその一例で、本製品を海外まき網漁業の浮き漁礁（FADs）の材料に使用し、水産庁補助事業・漁業系海洋プラスチックごみ削減対策事業にも貢献しております。また今後は、漁業領域における従来顧客への供給のみならず、海洋土木領域における港湾工事用資材や陸上領域における洪水・津波水害用資材としても供給することで、施工者や行政ニーズに合わせた本技術の利用促進および市場開拓も図ってまいります。



生分解性土のう袋



漁業現場における実証実験の様子

今後ともニチモウグループは、『浜から食卓までを網羅し繋ぐ』を合言葉に、ステーキホルダーのみなさまの豊かで健康な生活づくりに貢献できる企業を目指してまいります。

以上